

だいせん市議会だより

# あなたのギカイ

令和5年8月1日 第73号 5月臨時会・6月定例会の内容を分かりやすくお伝えします。

## 市政懇談会を 開催しました



大仙市議会市政懇談会

### CONTENTS

- こんなことが決まりました……………P 2
- 聞いてみたいなこんなこと……………P 6
- 所管事務調査……………P11
- 市議会だよりのリニューアル……………P13
- きかせて！あなたのミライ……………P14

● 第1回臨時会  
第2回定例会 ● 議案審議

大仙市の  
こんなことが決まりました。

第1回臨時会 会期1日間 5月1日

第2回定例会 会期22日間 5月30日～6月20日



第1回臨時会



第2回定例会

第1回臨時会	
専決処分報告	3件
単行案	4件
補正予算案	2件
第2回定例会	
人事案	29件
条例案	3件
単行案	3件
補正予算案	5件
陳情	1件

今号では  
この中から  
7つを  
**Pickup**

全ての議案名と審議結果は、大仙市議会ホームページをご覧ください。



〈議案第63号〉 令和5年度大仙市一般会計補正予算（第2号）

Pickup 1

国の交付金を活用し、市独自の  
物価高騰対策事業を実施します。

物価高騰の影響を受けている低所得者世帯および低所得世帯の子どもを対象に、給付金を支給します。また、肉用牛、乳用牛、豚を飼養する畜産経営体に補助金を交付します。

こんな質問が出ました。

**Q** 給付対象者に肉用牛、乳用牛、養豚を飼養する畜産経営体とあるが、畜産業は牛と豚だけとは限らず、ほかの動物を飼養している方への支援は検討されなかったのか。

**A** 大きいところでは養鶏があるが、昨年4月の鳥インフルエーションザの発生以降、市内で養鶏業をなりわいに行っている方がいなくなりました。現在、市内で鶏を飼っている方々は自給的な飼養となっているため、支援の対象外とした。



〈議案第96号〉 大仙市史跡の里交流プラザ「柵の湯」条例および大仙市中里温泉条例の一部を改正する条例の制定について

## Pickup 2

### 柵の湯および中里温泉の2施設の入湯料を改定します。

柵の湯は、来年度から指定管理者による管理運営への移行を目指しています。このため、指定管理者を募集するに当たり、基準となる収入と費用を積算するため、現在の入湯料をほかの指定管理施設と同額まで引き上げます。また、維持管理費が年々増加していることから、回数券・定期券の料金も引き上げます。

中里温泉は、ほかの温泉施設の料金が500円まで引き上げられることに伴い、同水準まで入湯料の額を引き上げるほか、回数券・定期券の料金も引き上げます。

こんな質問が出ました。

## Q

柵の湯の使用料設定を変更することだが、中里温泉の使用料と異なるのはなぜか。

指定管理施設と市直営施設の条例設定の違いである。条例

上、指定管理施設は上限額、市直営施設は実負担額を設定

する。指定管理への移行を目指す柵の湯は、他の指定管理

施設と同様に上限額520円の使用料とし、直営の中里温

泉は、来年度からの入湯料の値上げ方針に基づき、実負担

額500円の使用料とするため、この内容で条例改正の上程をさせていただいた。

項目	柵の湯		中里温泉	
	現行	改定後	現行	改定後
大人 (中学生以上)	400円	520円	400円	500円
子ども (小学生)	200円	260円	200円	250円
回数券 (10回分)	3,500円	4,000円	3,500円	4,000円
定期券 (1カ月)	7,000円	8,000円	7,000円	8,000円

柵の湯および中里温泉の入湯料改定について  
改定時期：令和6年4月1日

〈議案第97号〉 財産の取得について

## Pickup 3

### 大曲企業団地第2期造成事業に係る用地を取得します。

大曲西根地区で進めている大曲企業団地第2期造成事業に係る用地として、土地5万5179・39平方メートルを、2億7892万7986円で取得することが決まりました。

こんな質問が出ました。

## Q

取得する財産のうち、一筆だけ共有地がある。共有地の取り扱いは複雑な場合が多いので確認するが、当該土地の権利者は2名でよいか。

## A

今回の財産取得39筆のうち、大曲西根字鳥居332番以外の38筆は地目「田」であるが、共有地である当該土地のみ「雑種地」となっている。市道と田の間にある土地であり造成区域の一部となっているため今回取得するもの。公簿でも2名の共有地であることは確認しており、両者から同意を得て提供いただくものである。



令和3年9月第1期造成中の様子  
第2期は隣接地を造成します

## Pickup 4

### 鈴木空如の生誕150年を記念し、 法隆寺内での展示を行います。

県指定有形文化財「法隆寺金堂壁画模写」の作者として知られる仏画家・鈴木空如の生誕150年を記念し、世界遺産登録30年を迎える奈良県斑鳩町にある法隆寺内の聖徳会館で、市が所有する法隆寺金堂壁画模写を11月に2週間展示するほか、鈴木空如の業績を踏まえた特別番組を制作し、放映を行います。

こんな質問が出ました。

**Q** 映像を制作することのことで、何分ぐらいの映像を作る想定でいるのか。また、テレビ放映のエリアや時間帯はどのようなになっているのか。

**A** 映像は55分の番組を制作する予定であり、秋田県内で放映し、時間帯はゴールデンタイムの午後7時から午後10時の間を予定している。

**Q** チラシを配布することのことで、そのチラシの内容と配布する地域はどのようなになるのか。

**A** 空如展開催をお知らせするチラシとなっており、関西地域の催事が行われる施設に配布予定となっている。



5月に太田文化プラザで開催された鈴木空如展  
太田北小学校の児童が見学を行いました

## Pickup 5

### 大曲体育館に新たな移動式バスケットゴールを1台設置します。

大曲体育館にある4台の移動式バスケットゴールのうち、1台が故障したため、新たに1台を設置します。

こんな質問が出ました。

**Q** 2年前に北九州市の中学校で老朽化したバスケットゴールが落下し、女子生徒が負傷した事故があった。それと同様な老朽化したバスケットゴールも市内の体育館施設にあると思うが、その管理状況はどうなっているのか。

**A** 北九州市の事故と同様のゴールを設置している市内施設はあるが、使用時に動作確認と安全点検を実施するよう各施設には呼び掛ける対応をしている。



写真と同タイプの移動式バスケットゴールを新たに設置予定

## Pickup 6

**電気自動車（EV車）などの購入に係る費用を補助します。**

2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みとして、一般家庭の自家消費を目的とした太陽光発電設備や蓄電池、V2H充放電設備に加え、省エネ性能の高い電気自動車・プラグインハイブリッド自動車とその充電設備の設置に補助金を交付します。

こんな質問がきました。

ら、市内業者には限定して  
ない。

**Q** 補助対象となる設備の申請見込み件数を上回る申請があった場合はどうなるのか。

**A** 事業予算内で調整を図るが、予算が足りなくなる場合は、補正予算等で対応してまいります。なお、この事業については、来年度以降も継続して実施を考えている。

**Q** 設備等の購入は市内業者に限定するなどの要件はあるか。  
**A** 本事業においては、脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいくこととしていることか



省エネ住宅

省エネ車両

## Pickup 7

**第36期竜王戦大仙対局が旧本郷家住宅を会場に開催されます。**

令和5年12月6日から7日に、将棋界最高位のタイトル戦である竜王戦七番勝負の第6局が、大仙市角間川の「旧本郷家住宅」を会場に開催される予定となっております。竜王戦対局の運営のほか、前夜祭や地域イベント実施など関連経費を市が負担します。

こんな質問がきました。

**Q** 竜王戦七番勝負の第6局「大仙対局」の前に勝敗が決した場合、予定されている日程はどうなるのか。

**A** 大仙対局が行われない場合は、12月5日に竜王となった棋士を大仙市に招待し、祝賀会を開催する予定としています。12月6日には、大仙市の文化財、自然などをテーマとした観光スポットを竜王に巡ってもらい、大仙市の勝負めしも併せて食べていただくことを考えており、大仙市の魅力発信につなげてまいります。



旧本郷家住宅

聞いてみたいな

こんなこと



# 一般質問

## 一般質問とは？

皆さんの生活に関わる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活に関わる内容がありますか？

質問議員 8人 質問項目 16件

一般質問の全ての内容を動画で視聴できます。各議員顔写真の下にあるQRコードを読み取り、ご覧ください。

## 視覚障がい者への支援について



秩父 博樹 (公明党)



**Q** 暗所視支援眼鏡を購入費助成の対象とすべきではないか。

**A** 令和5年4月現在、117の自治体で障害者総合支援法に基づく日常生活用具給付事業の給付対象としている。市の令和5年3月末における視覚障がい者はおおむね223人で、このうち、網膜色素変性症を起因とする方は33名いる。これまで市に対して当該機器の給付に関する相談等はない状況にあるが、この暗所視支援眼鏡を使用することで日常生活の支援や社会参加の促進につながるものと考えており、先進自治体の状況等も参考にし、助成制度の日常生活用具の給付対象へ追加することで、検討してまいりたい。

**Q** 公的通知に音声コードを付与してはどうか。

**A** 音声コードに変換するための活字文書の作成に当たり、例えば、漢字の読み方が複数ある場合など、漢字表記の後にかっこを設け、ひらがなで記載する必要があるなどの課題があるため、先進自治体の取り組み事例を参考にしながら研究してまいりたい。

その他、誰もが投票しやすい環境づくりについて、熱中症対策の推進について質問しました。



内閣府HPより引用（一部加工）

暗所視支援眼鏡…網膜色素変性症等の網膜異常により、夜盲症または視野狭窄等の症状のある視覚障がい者が装着し、暗い所や夜間において視野を確保できるもの

音声コード…デジタル化された文字情報が含まれた高密度の二次元バーコードのことで、一つの音声コードに約800文字から1,000文字の情報を入れることが可能



## 大仙市のシンボル・花・木・鳥に続く制定について



高橋 徳久  
(だいせんの会)



**Q** 大仙市の魚として「サケ」を制定してはどうか。

**A** 現在、市の花としてコスモス、木としてケヤキ、鳥としてカワセミが定められており、これらのシンボルは、大仙市誕生1周年記念式典に合わせて市民の皆さまから公募し、社会教育等に携わる各地域の代表者の皆さままで構成する選考委員会での審査を経て定めたものである。募集や審査に当たり、「大仙市のイメージにふさわしいもの」「大仙市の歴史、文化、自然になじみ深いもの」「大仙市を象徴するもの」の三つの観点



を基準としている。県内では、県のほか6市町村において、魚をシンボルとしており、ご提案の「サケ」は、秋の訪れを告げる風物詩として、連続と受け継がれてきたものであり、重要な地域の伝統文化であると承知している。これまでの制定に関する経緯も踏まえ、新たなシンボルの制定に向けて、さまざまな機会を捉えて、広くご意見を伺ってまいりたい。

この他、外国人の就労について質問しました。

## 貧困およびひとり親世帯等の相談対応について



戸嶋 貴美子  
(だいせんの会)



**Q** 相談者との面談の際、個室化をスタンダードにできないか。

**A** 電話等で事前相談があった場合、その場で内容を伺い、来庁日に合わせて資料等を準備した上で面談室を確保し、対面での相談に応じている。来庁された場合、相談内容に応じ、必要な場合は面談室等を確保し、対応している。

受け止めている。複雑・複

合化した課題の場合においては、専門分野のメンバーで構成される重層的支援会議を開催し、適切な支援方法を検討することとしている。この会議は、議員ご提案の「専門家が集まる一週間」と同じ機能があると考えており、相談者のワンストップ化にもつながると考える。

**Q** 相談者のワンストップ化を図るため、有識者が集まり対応する機会（専門家が集まる一週間）を設けてはどうか。

**A** 「つながる・ささえる」ネットワーク整備事業で取り組む「分野を問わない相談支援」では、今年度から最初に相談を受けた窓口が、相談者の属性や世代、内容を問わず、包括的にそれらを



## 非核平和宣言都市である 大仙市について



佐藤 隆盛  
(市民クラブ)



**Q** 5月19日に核兵器のない世界に向けた機運の醸成を図るという目的を掲げ、G7広島サミットが行われたが、先行きに明るさが確約されたとは言えない状況ではないのか。大仙市は、「非核平和宣言都市」として今日まで来たが、市長の今の心境を伺う。

**A** 非核平和宣言を体言する事業として、大曲庁舎やJR大曲駅東口への看板設置のほか、市内の中高生を被爆地に派遣する非核平和レポート事業、小学生から一般までを対象とした平和標語コンクール、平和記念



フォーラムなどを行っている。非核平和都市宣言は、「大仙市は、平和憲法の精神にのっとり、非核三原則を将来ともに遵守し、あらゆる国の核兵器の廃絶を全世界に強く訴え、人類共通の念願である恒久平和を希求するものである。」としている。これは市民の皆さまに共通する願いであり、争いのない平和な世界の実現に向け、今後も市民の皆さまとともに、非核平和宣言都市としての歩みを進めてまいりたい。

この他、一般質問答弁への対応状況について質問しました。

## DX推進ビジョンと 生成AIについて



石塚 柏  
(だいせんの会)



**Q** DX推進による財政面への貢献があるのではないか。複数の事業がパッケージとなっていて一部の交付金事業等は、削減した事業費を他の事業に振り向けることが可能なケースもあり、一般財源へのプラスの寄与が想定できる。

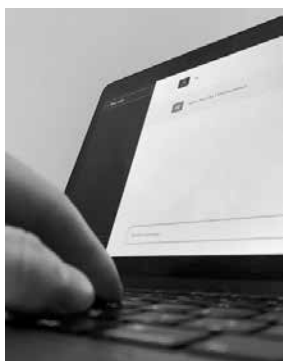
**Q** 市と市教育委員会は、生成AIをどう評価しているのか。

**A** 市としては、入力の内容や生成結果の利用などによっては、情報漏えいや他社の権利侵害など、法令違反の危険性も指摘されていることから、国や他の自治体の事例も参考にし、生成AIを活用する業務や分野、ルールについて定めてまいりたい。

教育委員会としては、一定のルールを定め、利用する

ことが必要と考えており、学校での利用は、子どもの思考力や創造性などへのマイナスの影響が指摘される一方で、情報活用能力向上のための有効な手段となるなどの議論がある。引き続き、現状把握と情報収集に努め、今後、文部科学省から出されるガイドラインの内容を踏まえ対応してまいりたい。

この他、定員適正化計画について質問しました。



生成AI…あらかじめ学習したデータをもとに、画像・文章・音楽・デザインなどを新たに作成する人工知能(AI)の総称



## 中学生議会での提案に対する市としての取り組みについて



山谷 喜元  
(大地の会)



**Q** 令和5年中学生議会での中学生からの提案について、これからこの地域を担っていく若者に、市として予算化をするなど、目に見える形で応援している姿勢を改めてしっかりと見せることが必要ではないのか。

**A** SDGs関連の提案について、今年度、大曲地域において、プラスチックの資源回収につながるための排出物調査を行うこととしている。また、市民や企業、団体の皆さんが実施しているSDGsに関する取り組みを募集し、市の広報やホームページなどで広く紹介す



令和5年大仙市中学生議会実施記録集（市ホームページ掲載）

る「SDGs取組宣言プロジェクト」を実施することとしており、このプロジェクトは、中学生議会でご提案いただいた、共通の目標に対して自分が取り組むことを決め、振り返りを行うという「MYSDGs」の取り組みの趣旨に沿うものと考えている。ご提案に対する予算化の状況を含め、その後の取り組み状況や成果が中学生の皆さんにも届くよう、情報を発信してまいります。

この他、働き方改革（新入職員へのサポート）について質問しました。

## 誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策について



挽野 利恵  
(公明党)



**Q** 不登校の児童生徒が自宅等において、タブレットで配信授業を視聴していることを把握できるのか。また、把握できる場合は出席扱いになるのか。

**A** 配信する場合も双方でのやり取りが可能であり、児童生徒の学習状況をリアルタイムで確認することができる。文部科学省では、不登校児童生徒が自宅においてICT等を活用した学習活動を行った場合、いくつかの要件を満たすことにより、学校長の判断で出席扱いにすることができるとしている。（本市の）学校では出席扱いできるようタブレット活用の充実に努めている。

**Q** 早期発見、早期支援のための取り組みは。

**A** 日常の観察はもとより、定期的に「学校生活に関するアンケート」を行うなど、複数の目での情報収集に努めている。健康観察をタブレットで行い、周囲の目に気にせず相談できる方法を取り入れている学校もある。さらに、家庭生活の悩みがある場合は、福祉部局などと連携しながら対応している。

この他、重層的支援体制整備事業について質問しました。



## 自転車ヘルメット着用の啓発と支援について



佐藤 文子  
(日本共産党)



**Q** 自転車のヘルメット着用については、道路交通法改正で今年4月1日から全世代を対象に努力義務となっている。啓発と支援体制の構築が必要と思うが、今後の対応は。

**A** 制度改正の内容は、市のホームページやポスター掲示等で周知しており、今後、ヘルメット着用の機運をさらに醸成するため、市主催の安全安心推進集会や交通安全運動、広報等の機会を捉え、ヘルメット着用率向上に向けた啓発に取り組んでまいりたい。また、秋

田県警察をはじめ、高齢者の世帯訪問や交通安全教室を行う「交通安全母の会」、地域に根差した啓発活動を行う「交通安全会」などの各団体、交通事故防止活動に取り組み「交通指導隊」と連携し、交通ルールの順守徹底に加え、ヘルメット着用の安全性や正しい着用方法などについて呼び掛けてまいりたい。

**Q** 高齢者のヘルメット購入助成を実施してはどうか。

**A** 県または他自治体での取り組み状況、着用率の推移等の状況を見て判断してまいりたい。

この他、花火事業について質問しました。



秋田県自転車条例チラシ  
秋田県HPより引用



## 市政懇談会を開催しました

6月23日～28日の6日間、大仙市議会市政懇談会を開催しました。

議員が5班編成で市内11カ所に出向き、議会の活動状況や令和5年度当初予算の主な事業について報告し、地域会場ごとにテーマを設け、意見交換を行いました。市民の皆さまからはテーマに関連したさまざまなご意見・ご提言をいただきました。

市政懇談会の詳細については、後日、市議会だよりでお知らせいたします。

市政懇談会への出席者数

開催日	場 所	人 数
6月23日(金)	神岡福祉センター	16人
	南外コミュニティセンター	16人
6月24日(土)	藤木公民館	4人
	四ツ屋公民館	16人
6月25日(日)	大川西根公民館	4人
	はなび・アム	14人
6月26日(月)	さくまる館	9人
	おおたコミュニティプラザ	25人
6月27日(火)	協和庁舎	15人
	大綱交流館	28人
6月28日(水)	中仙農村環境改善センター	35人
計		182人



キッズスペースを設け、親子で参加できました！

## 総務企画常任委員会所管事務調査

6月12日、大雨による災害に備えるため、市の対応状況について所管事務調査を行いました。

はじめに、福部内川遊水地の排水ポンプ展開地については、国（60トン）県（30トン）市（60トン）で所有する排水ポンプ車が連携して効率的に排水できるように整備された、堤防乗り越し管や護岸保護などの排水補助施設を視察してまいりました。

次に、排水ポンプ車については、台風や豪雨による浸水被害に対して、排水作業を緊急的に行う車両を令和3年7月に導入しており、毎分60トン（25メートルプールを6分）を排水することができるとのことでした。

次に、トイレトレーラーについては、災害時における避難所や救助活動時のトイレ不足問題を解消するため、令和4年6月に、東北地方で初めて導入されました。（使用回数1300回）

この排水ポンプ車とトイレトレーラーの機動力を生かすことで、被害の未然防止や内水氾濫の被害軽減や避難者支援につながるものと感じてまいりました。

（総務企画常任委員会

委員長 橋村 誠 記）



福部内川遊水地の排水補助施設視察の様子



排水ポンプ車（左）とトイレトレーラー（右）

## 産業建設常任委員会所管事務調査

5月24日、多目的人工芝グラウンド、仙北健康広場テニスコートおよび公有林整備事業の方向性の3件について所管事務調査を行いました。

はじめに、多目的人工芝グラウンドについては、工事は順調に進捗して最終段階を迎えており、6月21日の竣工式、7月からの供用開始の予定であるとの報告を受けました。グラウンドには、サッカーや野球の区画線があらかじめ引かれ、ナイター設備も全面対応から部分対応もできる内容で設置されておりました。また、グラウンド・ゴルフの利用も多くなると見込んでおり、8ホール4コース分の備品も導入予定とのことでした。

仙北健康広場テニスコートについては、コートの増設、人工芝化などの改修工事を3月に終え、4月から供用を開始し、多くの方から利用されている旨の報告がありました。

次に、農林部より公有林整備事業の方向性について、現地調査の結果と再造林を前提とした事業方針についての説明を受けました。

（産業建設常任委員会

委員長 高橋 徳久 記）



多目的人工芝グラウンドの視察



公有林整備事業の方向性について説明を受ける

## 大仙市森林・林業・林産業活性化推進議員連盟がスギコンテナ苗生産現場などを視察しました。

6月22日、大仙市森林・林業・林産業活性化推進議員連盟研修会を開催しました。研修会では、はじめに、秋田スギのコンテナ苗生産事業を行う一般財団法人地域森林整備集団が運営する「杉つ子ナーズリーAKITA」（南外字平沢）の視察を行いました。秋田スギのコンテナ苗生産の作業は播種からはじまり、ビニールハウス・露地などで管理された育成の工程を経て出荷されるということでした。

次に、再造林モデル事業地区に選ばれている刈和野字畑の沢地内のスギコンテナ苗植栽状況の視察を行いました。この事業では、再造林費用の削減と作業の省力化につながる「一貫作業モデル」の実証フィールドとして市有林を活用し検証するもので、再造林の普及を図り民有林へ向けた波及効果につなげるとのことでした。

今回研修した内容を踏まえ、今後、市の森林・林業・林産業活性化に資するための活動を推進してまいります。



スギコンテナ苗生産現場視察の様子



スギコンテナ苗植栽状況視察の様子

## 大仙市畜産振興議員連盟が畜産共進会を視察しました。

6月28日に、大仙市畜産振興議員連盟で「第17回 大仙・仙北・美郷畜産共進会」の視察を行いました。（会場は笹倉公園）

「畜産共進会」とは、より能力の高い家畜の生産により、畜産経営の安定化と消費者の食の安全・安心を推進するため、家畜の改良成果を審査する大会のことで、肉用牛や乳用牛のほか、ジャンボウサギの飼育の成果が審査されておりました。

また、今回の畜産共進会には、大曲農業高校畜産部の生徒の姿がありました。

畜産部は、令和9年に北海道で開催される「全国和牛能力共進会（全共）」への出場を目指しており、その一環として、畜産共進会に初めて参加し、審査員に交じって審査を体験し、審査基準を学んでおりました。

大仙市は今後、県や関係機関と連携して全共出場に向けた支援をしていくこととしており、大仙市議会としても、畜産部の活動を後押ししていくとともに、さらなる畜産振興の強化を図る活動を進めてまいります。



## 佐藤芳雄議員に正副議長職功労 佐藤隆盛議員、小松栄治議員に 永年勤続者表彰

6月14日に開催された「全国市議会議長会 第99回定期総会」で、佐藤芳雄議員が、正副議長在職4年以上の功労により、また、佐藤隆盛議員と小松栄治議員が在職20年以上の功労により表彰され、第2回定例会4日目の本会議開議前に表彰状が伝達されました。受賞おめでとうございます。



左から順に佐藤隆盛議員、佐藤芳雄議員、小松栄治議員

## だいせん市議会だよりをリニューアルしました。

だいせん市議会だよりをより多くの人に読んでもらうべく、紙面の見直しを行いました。「読みやすさ」にこだわってリニューアルした『だいせん市議会だより』をこれからもよろしくお願ひします！

### 01 新しい愛称を 「あなたのギカイ」に決定

大仙市議会が市民一人一人に寄り添った議会であることが愛称に込められています。

だいせん市議会だより  
あなたのギカイ

### 02 大仙市の小学生が 将来の夢を語るコーナーを新設

「きかせて！あなたのミライ」と題し、大仙市の将来を担う小学生の将来の夢を掲載します。



### 03 高齢者や視覚の弱い方にも 配慮した紙面づくり

見やすく読みましがえにくいユニバーサルデザイン（UD）フォントを採用します。



### 04 文字数を削減 写真を多く掲載

文章はできるだけ短くし、そのぶん写真をたくさん掲載します。



## きかせて！あなたのミライ

大仙市の小学生が将来の夢を語るコーナーです。



くまが い 熊谷 ひろむ 裕 さん (豊成小学校6年)

■音楽の授業で、楽器を演奏することが好きです。特にピアノを弾くことが好きです。中学校に行ったら、吹奏楽部に入りたいと思っています ■サッカーのスポーツ少年団に入っています。最近はMF（ミッドフィールダー）として、声を出してシュートにつながるパスを出すように頑張っています。大会では3位や2位が多いので優勝をしたいです ■休みの日は、田植えや稲刈りを手伝っています。最近は田植えのときに育苗箱を洗う仕事をして、家族のために頑張りました ■将来はパソコンを修理する仕事に就きたいと考えています。パソコンの使い方困っている友達に声を掛けてアドバイスをしてあげたら喜んでもらったので、自分自身もうれしい気持ちになったからです。

### 9月定例会

日	月	火	水	木	金	土
8/13	14	15	16	17	18	19
					本会議 議案等上程	
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	9/1	2
			本会議 一般質問	本会議 一般質問		
3	4	5	6	7	8	9
			各常任委員会審査（決算含む）			
10	11	12	13	14	15	16
					本会議 委員長報告等	

※定例会日程は変更される場合があります。  
変更内容は、議会ホームページでお知らせします。



### 市議会だよりのご感想などをお寄せください

市議会だよりのご感想や大仙市議会に対するご意見、ご要望などを次の方法により、議会事務局へお寄せください。

- ①郵送 ・宛先：〒014-8601 大仙市大曲花園町1番1号  
大仙市議会事務局あて
- ②FAX ・番号：0187-62-8822（議会事務局専用）
- ③メール ・アドレス：gikai@city.daisen.lg.jp

こちらのQRコードからメールを作成いただけます。



### 議会の傍聴について

本会議および委員会は公開されており、傍聴することができます。傍聴をご希望の方は、議会開会日に、大仙市役所3階議会事務局窓口までお越しください。

### 請願・陳情について

9月定例会で審査される請願・陳情は、8月8日（火）までに提出されたもので、それ以降に提出されたものは、次の定例会での審査となります。

## 編集後記

委員

戸嶋貴美子

■大仙市では、妊娠・出産期から育児期までの継続的な相談をはじめ、経済的な支援など途切れない施策に取り組んでいる。例えば、2歳児のみならず3～5歳児の保育料および副食費無償化などは、特に全国的にも大変珍しい。さらに、令和8年度においては、親子で一緒に楽しめる室内遊び場施設がオープン予定であり、大仙市議会と市当局が一体となり全力を尽くしている。■しかし、経済的理由で進学をあきらめる家庭や、県内就職をあきらめる子どもたちが後を絶たない。そんな時は、最寄りの市議会議員や市に気軽にご相談をいただきたいと切に願う。■大仙を担うこれからの子どもたちに大きなチャンスと輝くミライを。